

「やってみよう」が未来をつくる～Be the First Penguin!～

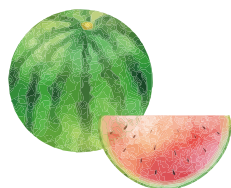
熊本高专だより

KUMAMOTO KOSEN

No. 39

2025.8
夏号
SUMMER

今号のテーマ **新入生を迎えて**



Contents

- | | | |
|------------|-----------|------------------|
| 01 巻頭のことば | 10 学生たちから | 15 新年度を迎えて |
| 03 新入生を迎えて | 12 特集 | 17 諸だより |
| 05 新入生から | 13 人事異動 | 18 News & Topics |



新年度を迎えて

校長 高松 洋

令和7年度の入学式を多くの保護者の皆様ご列席のもと熊本県立劇場で挙行でき、今年も入学生と編入学生をお迎えすることができましたこと、大変嬉しく思っております。すべての学生の皆さんが、充実した学生生活を送りながら将来の基礎をしっかりと築いていけることを心から願っています。

私が校長を務めて4年目に入りましたが、この間、国会議員や地方議員の方、文科省や経産省、地方自治体の方、経済界の方、外国の方など数多くの方々が視察や意見交換にされました。これは、半導体で盛り上がっている熊本県にあって、本校が全国高専の半導体教育をリードしているからですが、今、高専自体が多くの方から多大な期待をいただいていることも大きな理由の一つです。科学技術の発展を支える人材の育成が日本の将来には不可欠であり、その一翼を高専が担うと期

待されているのです。

半導体分野に限らずものづくりには様々な分野の知見が必要です。それを一人で賄うのは不可能であり、様々な分野の専門家の力を集めてものが作られます。ですから、エンジニアとしてはそのプロフェッショナルなメンバーとなり得ることが重要であり、だからこそ高専では自分の専門の基礎をしっかりと身につけることが第一です。そのうえで、分野の異なる人とコミュニケーションがとれる素養を身につけることが大事だと思います。さらに、これから様々なことが大きく変わることが予想される今、その変化に柔軟に対応するだけではなく、自ら変化を引き起こすようなチャレンジ精神をもつことが求められていると思います。学生の皆さんの中には、まだ、自分の遠い将来のことまで考えられない人もいるでしょうし、自分に自信を持ってない人も大勢いるでしょう。しかし、できるだけ先の方に目を向け視野を拡げたうえで、今、自分ができることを一つ一つしっかり行っていくと将来が見えてくると思います。

高専では、学生の皆さんが在学中に子供から大人になることにはなりますが、途中で高校から大学に進学する時のような大きな環境の変化はありません。したがって、意識を急に変えるのはなかなか難しいのではないかと思います。ですから、できるだけ早い段階から自分の責任は自分ですという意識を持ってもらうよう、学生の皆さんの自主性、主体性を重んじたいと思っています。専門教育だけでなく、「社会の中で生きていくための力」を醸成するため、成長段階で必要な教育にも引き続き力を入れていくつもりです。また、成長段階に応じた教育をどのように行っていくかについても教員間で十分話し合っていこうと考えております。

教育には教育機関の力だけでなく、保護者の皆様のご協力はもちろんのこと、地域の方、企業の方など多くの方々からのご支援が欠かせません。皆様のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

新入生を迎えて

熊本キャンパス奨学後援会 会長 長 生 修



新入生、留学生・専攻科生の皆さん、熊本高専へようこそ！そろそろ高専での生活に慣れ、新しい友人たちと、充実したキャンパスライフをお過ごしではないでしょうか？ 在校生の皆さんも、それぞれの学年で、様々なことにチャレンジされていることと思います。

今、世の中はものすごいスピードで変化しています。それを支える技術も同様です。皆さんは、知識と技術を基礎から学び、それをしっかりと身に付け、将来は、自らその機会を創り出して、ちからを発揮していただけたらと思っています。そのためには、日々の授業、部活動や電波祭などでの活動、先輩・後輩・同級生とのコミュニケーション、先生方との交流を大切にしてください。

今年度から、会長の役をお預かりすることとなりました。奨学後援会は、皆さんの学びや学生生活をサポートし、皆さんが夢に向かって進むことを応援していきます。保護者の皆さま、一緒に応援していきましょう。奨学後援会の活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

新入生を迎えて

八代キャンパス後援会 会長 星 田 和 哉



新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。熊本高専で新しい学校生活を始められることを、心からお祝い申し上げます。

この熊本高専で、様々な経験を経て、自身のやりたい事を見出し、その目標達成するためにはどうすれば良いか、積極的に行動していただきたいと思います。

熊本高専では多岐にわたるプロジェクトが展開されております。なかでも令和6年度からスタートしたファーストペンギンズプロジェクトは学科や年齢を超えて、全ての学生さんの新たなチャレンジを後押ししてくれる心強いプロジェクトです。『やらぬ後悔よりやる後悔』とありますように、学業やスポーツ、文化的活動や学生会活動など多岐にわたる学生生活を悔いの無いものにしていただきたいと思います。たとえ失敗したとしても、その経験を糧にして、将来に役立つような知識やスキルを習得され、皆さんの未来が希望に満ちたものであることを心より願っております。

また保護者の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。高専生とは言えど、私たち親世代から見ればまだまだ子どもであり、精神的、経済的には守っていかなければならない存在です。私たち後援会も、学生生活がより良いものになりますよう、出来る限り尽力していきたいと思っています。今後とも後援会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

高専での学び

教務主事（八代キャンパス） 濱 邊 裕 子



新入生の皆さん、高専生活には慣れましたか？

高専は自由な校風ですが、自由には「責任と義務」が伴い、自主的に考え行動することを求めています。規則を遵守しつつ、5年間の高専生活を大いに楽しみ、実り多いものになることを願っています。そのため、学生の皆さんには良い点数を取ることを目的とした勉強ではなく、一つでも多くの知識・技能・考え方を身につけること、利活用できることを意識した学びとしてほしいです。卒業後に数十年働くことを考えると、アルバイトはほどほどにし、学生の今しかできないことに取り組みましょう。高専には様々なプロジェクトがあり、挑戦できる環境が整っていますので、最大限活用してください。また課外活動にも積極的に参加し、同級生だけでなく、先輩・後輩と交流して学生生活を充実させてください。机に向かって勉強するだけでは面白くない。体を動かし健康的に高専5年間で過ごし、様々な経験を経て、社会で活躍できる人になってください。勉強の理解が進まない、悩みがあるときは、周囲の友達、先輩、教員を頼りましょう。高専の教職員は押し並べて面倒見がいい方ばかりです。

保護者の皆様、15歳で高専入学したお子様が大人へと成長する5年間です。子離れする期間となり、少し寂しい思いを抱かれるかもしれませんが、適度な距離感でお子様の成長を見守り、本校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

熊本高専だからできること

学生主事（熊本キャンパス） 合 志 和 洋



春先に咲き誇っていた淡い色の野の花も、夏の暑い日差しにも負けない濃い色のものに移ろってました。新入生の皆さんも本校に入学して数カ月が経ち、少しずついろんなことを経験して高専生らしくなってきたことと思います。クラスマッチや新入生研修を経て、高校総体や高専大会などの行事にも参加して高専生活を楽しむことができていることでしょう。

皆さんは今、やりたいと思うことや興味があることに全力で取り組んでいますか？何かに没頭することでそれまで見えていなかったものが見えるようになり、知識も深まっていきます。今、皆さんはこの熊本高専で興味を持って没頭できる何かがありますか？勉強はもちろんのこと、研究や資格取得、課外活動など、好きなこと、今しかできないことに一生懸命取り組んでほしいと思います。そして、どんどん専門性を深めていってほしいと思っています。熊本高専では、新しいことにチャレンジする学生の育成を目指した「ファーストペンギンズプロジェクト」が現在進行中です。アントレプレナーシップ教育を推進するとともに、熊本キャンパスでは「ワーキングコモンズ（くぬぎ会館2F）」や「ワーキングラウンジ（1号棟2F）」、「ファブリケーション・ラボ（6号棟3F）」などの施設を利用できます。皆さんがファーストペンギンとなって活躍してくれることを期待しています！

八龍寮今昔

寮務主事（八代キャンパス） 宇ノ木 寛文



新入寮生の皆さん、入学・入寮を心より歓迎します。

ここまで数カ月いかがでしたか？日課や規則は厳しいものでしたか？今回この文章を書くにあたって八代高専時代の寮を思い出し、変わったなあと改めて感じています。たとえば、朝点呼は7時20分に運動場でとられていましたし、自習時間は20時45分から23時15分までの2時間30分でした。（今は1時間40分かな？）

卒業生は寮生活を振り返ると「俺たちの頃はもっと厳しかったですよ！」と口を揃えます。実際、朝のグラウンドでの点呼は宿直者も億劫でしたが、おかげで当時の朝食摂取率は相当高かったはずで、自習は時間だけでなく実質も伴っており大変だったかもしれませんが、寮生の方が通学生より有意なレベルで成績がよいという

データがあったと記憶しています。

寮のルールは厳しいと思うかも知れませんが、ルールは構成員を守るためにあります。「学習時間を確保したい」人が落ち着いて学習できるように、「身体を休めたい」と希望する人が安心して休めるように、それぞれ時間が決められています。紆余曲折あって定まったありようにはそれなりに意味があるのだと思います。寮生諸君は現代の（緩やかな？）ルールの下で他者を尊重しながら共存し、自己実現のための貴重な時間を過ごしてくれればと思います。

そして、いつか「俺たちの頃はもっと厳しかったですよ！」と元気よく振り返ることを楽しみにしています。

まずはやってみよう！ ～アントレプレナーマインドセットを大切に～

総務主事（熊本キャンパス） 柴里 弘毅

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんが熊本高専の一員となることを大変嬉しく思います。本校は、勉学や研究だけでなく、地域の課題解決を当事者の方々と一緒に図っていく社会実装、国際化教育、ロボコンをはじめとする各種コンテストやSTEAM教育にも力を入れている素晴らしい学校です。

皆さんには、ぜひアントレプレナー（起業家）のようなマインドセットを育んでほしいと思います。それは、会社を作る人になってほしいという意味ではなく、起業家のように失敗を恐れずにチャレンジする姿勢や、他者との協働により解決策を探索したりすることができる知識、能力、態度を身につけてほしいという意味です。これらを身につけた人の中から、本当に起業する方も出てくると思います。結果を恐れずに、大いに失敗をしてください。失敗は挑戦した証です。

学校生活の中にも、自分なりの工夫や挑戦をする場面がたくさんあります。また、さまざまなコンテスト、国際交流や留学、STEAM教育のボランティアの情報はTeamsにあふれています。その契機をチャンスと捉え自ら主体的に動くことで、皆さんの学校生活がより豊かなものになっていくと信じています。私たち教職員や先輩方は、皆さんが挑戦し、充実した生活を送れるよう、様々な面からサポートしていきます。

挑戦する姿勢を表す言葉の一つに「ファーストペンギン」があります。本校のキャラクター「吟一郎」は挑戦する姿勢をイメージしたもので、皆さんの先輩がデザインをしてくれました。吟一郎のように挑戦の海に飛び込んで、ファーストペンギンの一員となってください。皆さんのご活躍に期待しています。

熊本高専に入学して



機械知能システム工学科1年 松本 優里菜

クラスに女子が7人と少なく、不安から始まった高専生生活。約1か月が経過した今では高専での暮らしにも慣れ、毎日楽しく過ごしています。初めての行事である球技大会では、女子3人・男子5人のチームでドッジボールの種目に挑みました。午前の2回戦を勝ち残り、「1年で午後に残れたということは実質優勝！」と言い合えるくらいに仲も深まりました。そしてクラスのみんなに見守られながらやってきた午後、準々決勝、相手は3年生でした。

結果は全滅。改めて先輩の強

さを実感したとともに、2月の球技大会こそはとチームで闘志を燃やしました。新入生研修はまさかの大雨、強風。ペーロン船には乗れませんでした。パーパータワーや長縄大会で他学科とも多く交流でき、楽しい思い出になりました。勉強は大変ですが、放課後に教室や教員室で友達と教科書を開きながら頑張っています。これから、5年間の高専での生活を自分の成長に繋げていきたいです。



熊本高専に入学して



制御情報システム工学科（1年1組）浦崎 蒼生

熊本高専に入って早2ヶ月が過ぎ、少しずつ新しい生活にも慣れてきました。クラスメイトはとても個性的で、話していて飽きることがありません。授業中のリアクションが個性的な人もいて、「高専らしいな」と感じる場面が多くあります。授業では専門的な内容に触れる機会も増え、難しさを感じることもありますが、自分のペースで理解を深めながら取り組んでいます。まだまだ分からないことも多いですが、友達と教え合う中で楽しく学んでいます。今後は、文化祭といった行事にも積極的に参加しながら、数学とか、興味のある分野の勉強にも力を入れていきたいです。高専での5年間で充実したものになれるよう、日々を大切に過ごしていきたいと思っています。

仲間と共に



建築社会デザイン工学科1年 木ノ下 咲太

高専入学から早2カ月。友達もでき、高専生活に慣れてきたような気がしていました。しかし、数学の確認テストで衝撃の22点…点数を見たときはショックでこの先うまくやっていけるか不安になりました。しかし、復習レポート提出で挽回できると聞き、友達との協力や休講時の先生の解説により、理解することができ期限内に提出することができました。

私は小学校から野球をしていたので迷うことなく野球部に入部しました。ボールが軟式から硬式に変わったり、ポジションが変わったりと慣れること

はまだ難しいですが、練習をたくさんして、1年生から活躍できるように頑張ります。

私は今、とても濃い日々を送っています。この日常が今以上に充実したものになるように、5年間で共にするクラスや部活の仲間と共に切磋琢磨しあい、高専生活を楽しくでいきたいです。そしてこれからの5年間を通して少しでも理想の自分に近づけるように日々頑張っていきます。



新しい高専生活と友達



制御情報システム工学科（1年2組） 吉野 陽貴

あっという間にテストがあり気づけば入学式から2か月が過ぎました。クラスに知り合いが一人しかいないでとても心細かった初日のことが嘘のようです。授業は中学校での1時間から約2倍に長くなりました。最初のほうは授業についていくことより時間になれることで精一杯でした。特に数学のスピードには圧倒されています。そんな中でもクラスマッチなどを通じてクラスみんなが仲良くなれ、テスト前には大勢が放課後に教え合いをしていました。

高専に入学して驚いたことは自由な雰囲気です。他の高校とは違い自己責任がとても多く問われます。ほかにも自分から情報を取り入れなければ何もわからなくなってしまいます。自由には大きな責任が伴いますが、自由な時間などの使い方によっていろんな道が開かれていると思います。与えられている自由を最大限に活用していきたいです。



熊本高専に入学して

生物化学システム工学科1年 新田 哩久

私は熊本高専に入学して2か月がたちました。高専では素晴らしい仲間との出会い、数多くの学びなどがありました。2か月のうちであった様々なイベントでは、チーム一丸となって一つのことに取り組みました。芦北研修の大縄一斉とびでは、雨のせいでできなかったマリ活動のうっ憤を晴らすように大声を出してチーム一丸となりました。球技大会ではそれぞれがそれぞれの種目で全力を尽くしました。あなたの汗は誰よりも輝いていましたね。クラスが分断したこともありましたね。でも助け合いのきずなは壊れませんでしたね。フォトコンテストで僕が優勝した時はクラスみんなで喜び合いましたね。このような様々な学びが私を成長させてくれました。



高専に入学して

情報通信エレクトロニクス工学科（1年3組） 稲田 明

自分のあこがれであった熊本高専への入学、そんな出来事から早くも二か月が経とうとしていることに驚きます。入学式や始業式では緊張してばかりでしたが、今は少しずつこの生活に慣れてきました。やはり学習する内容は難しく感じますが、新しく出会えた友達と休日に出かけたり、部活動に励んだりなど、とても充実した日々を送れています。

そんな高専生活ですが、なんといっても一番の驚きはその自由さでした。学校にある設備を利用し、自分の考えたこと、挑戦したいことに挑戦できるという環境は本当に恵まれていると感じます。だからこそ、興味を持ったことにはなんにでも恐れずに挑戦し、学びを深めていこうと思います。

これから、様々な場面で大変なことも多いとは思いますが、人との関わりを大切に、乗り越えていこうと思いました。

専攻科に入学して



生産システム工学専攻1年 上山 舞理香

専攻科に入学して2ヶ月が経ち、これまでとは違う環境で新鮮な日々を送っています。本科より専門的な学びを通して、より深い知識が求められることを実感しています。日々新しい知識を吸収し、成長を感じながら目の前の課題に取り組んでいます。忙しい中でも充実感があり、学びが着実に自分の力になっているのを感じています。専攻科の2年間は、限られた時間で多くの挑戦が求められます。授業や課題にしっかり取り組むのはもちろん、資格取得や研究活動にも力を入れ、実践的なスキルを身につけたいです。目標が明確なため、インターンシップや就職活動にも積極的に参加し、現場で必要な経験を積んでいきたいと考えています。さらに、社会で不可欠なコミュニケーション力も鍛え、どんな場面でも対応できる力をつけたいです。実践を通して学んだことを活かし、社会に貢献できる技術者として成長していきたいと考えています。専攻科での2年間はあっという間かもしれませんが、一日一日を大切に、目標に向かって努力を続けていきます。日々の積み重ねが自分の力になると信じ、この経験を確かな成長につなげ、自分の可能性をもっと広げていきたいです。

専攻科に入学して



電子情報システム工学専攻1年 宮崎 智祐也

私は現在、熊本高専専攻科での学びに日々やりがいを感じながら過ごしています。本科での5年間を通して、専門知識や技術力を身につけると同時に、自分の進むべき道について真剣に考えるようになりました。特に5年次から取り組んだ研究活動では、現場の課題に対して自分の技術がどう役立つのかを意識するようになり、通信や無線技術を扱う研究に本気で向き合うようになりました。

専攻科に進学してからは、さらに高度な知識や実践的な技術に触れる中で、研究に対する姿勢もより主体的なものに変わりました。今は通信技術を活用したシステム開発に力を入れており、企業の方々や地域の方々とも連携しながら、楽しく、でも真剣に研究を進めています。「自分たちの技術で社会を少しでも良くしたい」という思いが、日々の研究の原動力になっています。

また、研究以外にも視野を広げることを大切にしており、本科5年次にはビジネスコンテスト「KYUSHU BOOST 10000」に参加しました。今年度は「WiCON2025」への出場を予定しており、プレゼンの技術や企画力、資料作成のスキルなど、授業だけでは得られない多くの学びを経験しています。

今年は就職活動も控えており、インターンや業界研究を積極的行っています。加えて、様々な資格取得なども挑戦し、専攻科での2年間を将来のための大事なステップとして、全力で駆け抜けていきたいと思っています。

熊本高専（八代キャンパス）に留学して



機械知能システム工学科3年 アハマド アキル ダニアル ビン アンザリ

はじめまして。マレーシアからの留学生で、機械知能システム工学科3年のアキルと申します。熊本県八代市に来てからもうすぐ2か月がたちます。最初は日本語での授業に戸惑うこともありましたが、クラスメートの皆さんがとても親切に接してくれて、少しずつ学校生活にも慣れてきました。

5月には球技大会があり、クラスの仲間と楽しく参加できました。次はチームで協力して1位を目指したいです。

日本には「学びたい」という強い思いで来ましたので、これからも授業や課題にしっかり取り組み、学年末試験でクラス1位を取ることが今の目標です。

そろそろ熊本市などの観光地にも行ってみたいと考えています。日本の文化や自然を体験するのも留学の大切な一部だと思っています。

これからの高専生活を積極的に楽しみたいです。どうぞよろしくお願いします。

国外生命体（留学生）より



人間情報システム工学科3年 ペルマナ デカ リスマン

やほ一つ！インドネシア出身で、留学生のデカです。名前は「デカ」とはいえ、最近、先輩と友達に「あれ、デカじゃないね」と言われるようになりましたが、僕はそれを気にしていません。

高専に入学するまでは、東京で一年間日本語を勉強していたので、心配せずにみんなと交流できてよかったです。「日本語上手ですね」と日本人の皆さんによく言われますが、実際はそうでもないのです。高専に入ってから日本語学校で学んだことのない「言葉」が非常に多かったので、日本語に関しては勉強不足だと思っています。

高専にいる間には、趣味として友達と一緒にいくつかのゲームを作りながら、プログラミングの分野を究めて、好奇心の胃袋を満たすために、面白い研究をやりたいと思います。これから3年間を過ごして、新たな出来事に期待しています。

熊本高専に編入学して



制御情報システム工学科4年 坂井 研志

私は、今年度熊本工業高校から編入しました。高校で学んだ基礎知識だけでは、現場で求められる技術を十分に身につけることができないと感じ、より専門的に学べる熊本高専への編入を決めました。また高専では、私が興味を持っている分野を深く学べる点も大きな魅力でした。高専に合格してから編入するまでの間、高専で3年間学んできた学生に追いつけるのか大変不安でした。しかし、実際に編入してからの2か月間、難しい授業に戸惑うこともありますが、先生や仲間の支えのおかげで、少しずつ理解を深めることができています。これから学校生活を通じて、高専生として必要な知識と技術を身につけ、将来社会に貢献できる技術者を目指して努力していきます。

学生会より



熊本キャンパス学生会 会長 西内 ひかり

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学生会一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。前期も終わり、高専生活には慣れてきたころでしょうか。5年間の高専生活は実はとてもあっという間です。楽しいことも辛いことも振り返ればどれも良い思い出となります。ぜひ「今」を楽しんで、面白がって過ごしてみてください。皆さんがより楽しい高専生活が送れるように、私たちが精一杯サポートしていきます。

さて、学生会ではこの学校を盛り上げていくために様々なイベントを開催しています。今年度のイベントは対面式に始まり、春季クラスマッチ、七夕とありましたが皆さん楽しんでいただけたでしょうか。梅ちぎりはあいにくの雨で中止となったため、来年度は開催できることを祈っています。

これからの学生会イベントはクリスマスイベントと冬季クラスマッチとなります。こちらも学生会一同、全力で準備していくのでぜひ楽しみにしてください！



学生会より



(右：園田)

八代キャンパス学生会 会長 園田 智駿

建築社会デザイン工学科の園田智駿です。

新入生歓迎会での学生会役員会の動画は楽しんで頂けましたか？

動画から感じてもらえたと思いますが、学生会役員会のメンバーはみんな明るく、何でも楽しみながら取り組んでいます。どうしたらみんなに楽しんでもらえるか、みんなが笑顔になるかと考えながら、1年生を迎える準備を進めてきました。

改めて、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

中学校とは大きく変化し、学校生活に必死についていっている人、やっと慣れてきた人、色々だと思っ

ます。私達もみんな最初は同じでした。だから大丈夫です！つらいテスト期間も友達と徹夜して乗り切ったり、レポートや課題を友達と相談しながら進めたり、友達との思い出がたくさんできて、どんどん学校生活は楽しくなっています。学生会でも球技大会や高専祭、クリスマスイベントなど様々な企画を予定しているので、皆さん一緒に楽しんでいきましょう！



明和寮へようこそ！



熊本キャンパス明和寮 寮長 相良 由奈

新入生、在校生の皆さん！ご入学、ご進級おめでとうございます！

初めての寮生活に不安もあったと思いますが、今では毎日のようにリビングで先輩後輩関係なく談笑したり、一緒に勉強したりする様子が見られ、寮長としてとても嬉しく思っています。

これから5年間の寮生活が待っています。4年半過ごした私が大切だと感じたのは「気づいて、考えて、行動する」こと、そして「何でも楽しむ」ことです。「誰かがやる」ではなく、「自分で気づいて次の人のために自分がやろう」という意識、そして「どんな環境でも楽しんでやるぞ」という気持ちが明和寮をもっと素敵な場所にしてくれると思います。

寮イベントとしては4月にはバレー & BBQ、5月にはしっぽ鬼、女子寮恒例のお茶会では初の試みとして体験型脱出ゲームを開催し、にこにこ楽しそうに活動する寮生の笑顔が見られました。明和寮はイベントが盛りだくさんなのでこれからも寮生活を楽しんでいきましょう！



寮生会より



八代キャンパス八龍寮 寮長 尾上 翔稀

新入寮生のみなさん、入学おめでとうございます！そして、これから始まる高専生活のスタートをこの寮で切ることになったみなさんを、心から歓迎します。

初めての親元を離れた生活に、不安や戸惑いを感じている人も多いかもしれませんが、寮はただの「住まい」ではありません。仲間と支え合い、励まし合いながら成長できる、もう一つの「家族」のような場所です。困ったときは、ぜひ上級生や寮務係の先生に相談してください。みんな最初は同じように不安でした。だから

こそ、力になりたいと思っています。

寮での生活は、規則もありますが、それ以上に得られるものがたくさんあります。仲間と語り合った夜、くだらないことで笑った思い出、時には喧嘩することもあるけれど、それも含めてきっと大切な経験になります。

皆さんがこの寮で安心して過ごし、実りある高専生活を送れるよう、寮長として精一杯支えていきます。これからよろしくお願いします。



半導体人財育成事業について

高専発!「Society 5.0 型未来技術人財」育成事業 COMPASS5.0 半導体分野 拠点校(熊本高専)リーダー

高倉 健一郎

近年、AIや自動運転、5G通信などの技術が急速に進化する中で、それらを支える「半導体」の重要性が世界中で高まっています。日本でも、半導体産業を支える技術者＝“人財”の育成が大きな課題となっており、熊本高専ではその期待に応えるべく、令和2年度から「GEAR5.0」「COMPASS5.0」という全国の高専が連携する教育プロジェクトに参加しています。

COMPASS5.0では、半導体をはじめ、IoT、ロボット、サイバーセキュリティ、AI・数理データサイエンス、蓄電池、再生可能エネルギーの7つの分野で、次世代を担う技術者を育てるためのカリキュラムづくりが進められています。熊本高専は、2022年度から佐世保高専とともに半導体分野の拠点校として、全国28の高専と連携しながら教育の実践を行っています。

本校では、本科4年生全学科を対象に「半導体工学概論」を開講し、毎年約150名の学生が受講しています。この授業では、実際に産業界で活躍するエンジニアの方々を講師に迎え、半導体の製造から応用までをわかりやすく学びます。また、専攻科では「半導体共創特論」や設計を学ぶ「サーキットデザイン」など、より専門的な内容にも取り組んでおり、半導体関連企業への就職者も年々増えています。

半導体産業は、設計・製造・検査などの工程が分業化されており、電気・電子だけでなく、機械、情報、化学、材料、さらには経営や品質管理など、さまざまな分野の知識や技術が必要とされています。つまり、学生一人ひとりが学んでいることが、どこかでこの産業に活かされる可能性があるのです。

「自分の専門は関係ない」と思わずに、「自分の学びが社会のどこで役立つのか」を考えることが、将来の進路を広げる第一歩になります。これは半導体に限らず、他の産業分野でも同じです。

熊本高専では、産業界や官公庁と連携しながら、「どんな人財が社会に求められているか」を明確にし、それに合った教育を進めています。教職員も、半導体の設計や製造に関する研修を受けながら、より良い授業づくりに取り組んでいます。

これからも熊本高専は、地域や社会の期待に応えながら、学生一人ひとりが未来を切り拓く“人財”として成長できるよう、実践的な学びの場を提供してまいります。



「半導体工学概論」での講義・実習の様子

熊本高専に着任して

八代キャンパス 機械知能システム工学分野 中 島 レ イ

この度、4月より北九州高専から熊本高専八代キャンパスに異動してまいりました中島と申します。

実は13年前にも人事交流で熊本キャンパスに赴任しており、その際にも「熊本高専だより」に新任教員として紹介文を寄稿いたしました。そのため、個人的にはあまり“新任”という感覚はありませんが、学生の皆さんにとって13年という年月は、ずいぶん昔のことに感じられるかもしれませんね。

始業式で話したように、私は約40年前に八代高専情報電子工学科を卒業しました。外観は当時とあまり変わっていないように見えますが、校舎の中はすっかり様変わりしており、特に廊下が明るく感じられます。また、当時は女子学生とすれ違うことはほとんどありませんでしたが、今ではあちこちで見かけるようになり、時代の移り変わりを実感しています。

高専卒業後はさまざまな地域に活動の場を移しながら経験を積んできました。20年ほど前からは北九州高専に勤務し、その間にはトルコや熊本高専でも勤務する機会がありました。13年間北九州に定着していましたが、今回久しぶりに新たな環境に身を置き、新鮮な気持ちで過ごしています。

今回の異動は3年間の予定ですが、この期間を通じて、八代キャンパスの先生方や学生の皆さんとともに多くのことを学び、経験していきたいと考えております。慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

タイから帰って来ました！



八代キャンパス 基幹教育部門 岩 尾 航 希

タイ高専の一つ、KOSEN KMUTTでの2年間の勤務を終え、4月からまた熊本高専に帰って来ました。数年前にタイにも高専が作られ、その立ち上げの教員として、タイの学生に物理を教えていました。英語での授業だったこともあり、授業準備は大変でしたが、刺激的で貴重な体験でした。

KOSEN KMUTTの学生も日本の高専生と総じて変わらないと思いましたが、あえて違う点をあげると、まず、あちらの学生の方が素直・従順だと感じました。これにはきっと宗教が強く関係しているのでしょうが、挨拶をするときにわざわざ合掌してくれる学生さんもいましたし、反抗期という言葉自体ないらしいです。またタイの社会全体に新しい技術を好む傾向があるようで、学校でも学生はタブレットでノートを取り、アップロードで宿題を提出していました。その点は日本よりも進んでいる印象でした。私はクラス担任にも加わり、いろいろな活動を学生と共にしてきましたのですが（写真はお寺でのキャンプ）、タイの学生とも日本の学生と同じように仲良くなれた気がします。

これからまた、タイでの経験も生かしつつ、熊本高専で頑張っていきます。タイでの2年間は改めて物理教育と向き合う時間でもあり、多くの再発見がありました。また、高専の国際化においても力になれるかと思えます。学生の皆さんと楽しく学んでいけたらと思いますので、皆様、またよろしく願いいたします！

転入者等一覧

【学外からの異動】

氏 名	所属・職名	前任地	異動日
中島 レイ	生産工学教育部門機械知能システム工学(MI)分野准教授(八代C)	北九州工業高等専門学校生産デザイン工学科准教授	R7.4.1
岩尾 航希	基幹教育部門理数総合科学分野准教授(八代C)	本部事務局准教授／国際参事補(タイ派遣)	R7.4.1
清永 政治	総務課長	熊本大学学生支援部学生生活課長	R7.4.1
岡崎 政典	管理課長	大分大学研究推進部産学連携課長	R7.4.1
一嶋 宏真	学生課長(熊本C)	人間文化研究機構国立民族学博物館管理部総務課長	R7.4.1
中村 将治	総務課人事労務係長(八代C)	熊本大学研究・社会連携部社会共創推進課係長	R7.4.1
濱口 樹	管理課施設企画係長(八代C)	熊本大学施設部施設管理課主任	R7.4.1
松永亜里沙	総務課主任(企画広報係)(八代C)	佐世保工業高等専門学校総務課総務企画係主任	R7.4.1
平山 祐	総務課主任(研究・社会連携係)(熊本C)	熊本大学教育研究支援部自然科学系事務課主任	R7.4.1
松永 凌	学務課主任(学生係)(八代C)	熊本大学財務部契約課	R7.4.1
赤峰 樹	学務課員(学務係)(八代C)	熊本大学国際部国際教育課	R7.4.1
栗原 徹應	学生課員(学生支援係)(熊本C)	熊本大学総務部人事課	R7.4.1
藤井 萌未	管理課員(財務係)(八代C)	熊本大学財務部財務課	R7.7.1

【キャンパス間異動】

氏 名	所属・職名	前任地	異動日
小崎美恵子	総務課総務課長補佐(熊本C)	学務課学術情報係長(八代C)	R7.4.1
渡邊 智昭	管理課施設管理係長(熊本C)	管理課施設企画係長(八代C)	R7.4.1
川村 裕樹	管理課主任(契約係)(八代C)	学生課主任(学生支援係)(熊本C)	R7.4.1

【新規採用】

氏 名	所属・職名	前任地	異動日
浦内 七海	管理課員(契約係)(八代C)	新規採用	R7.4.1
倉田 歩弥	学務課員(学務係)(八代C)	新規採用	R7.4.1
上角 駿介	技術教育支援センター技術職員(八代C)	新規採用	R7.4.1
鷺見幹奈子	総務課員(研究・社会連携係)(熊本C)	新規採用	R7.4.1
稲葉 洋一	学務課事務補佐員(八代C)	新規採用	R7.4.1
下田 彩乃	学生課学生相談支援員(熊本C)	新規採用	R7.5.1
古澤 洋子	学生課事務補佐員(熊本C)	新規採用	R7.7.1

2025 年度を迎えて

情報教育セキュリティセンター長 藤本 洋一



皆さん、新年度が始まり、しばらく経ちましたがいかがでしょうか？

さて、組織改編で今年度から、情報セキュリティセンターは情報教育セキュリティセンターに変更になりました。名前に「教育」が付いたことになります。これはセキュリティだけではなく、情報教育にも力を入れるということです。

すでに皆さんもご承知のように、数理・データサイエンスAIの話題をはじめ、コンピュータとネットワークは各専門としても重要になってきています。たとえば、各種のデータ収集、専門科目で培った数値計算やシミュレーション、簡単なプログラム作成による作業効率の向上などが要求されています。これらは文系理系関係なく要求されるようになっていて、大学入試共通テストでも科目としての

情報が必須となりました。一般の高校生もプログラミングをはじめとする情報を普通に学習するほどに重要視されているということです。

ところで本校はBYODとしてノートPCを利用した学習を推奨しています。これは皆さんが自分で自分のPCを管理し、扱いに慣れることを目的としているものですが、皆さんは使いまくっていますか？

情報教育セキュリティセンターは、皆さんの学習や研究のため基幹ネットワークの整備を行っています。不具合などがあれば気軽にセンター関係者に相談してください。皆さんの将来に本校のシステムが役に立ちますように。

とびだせ 世界へ

国際交流支援室長 大隈 千春



2年生台湾研修（故宮博物館）

いま、高専生には国際的な挑戦の機会がこれまでになく充実しています。特に、グローバル化が加速する産業界の人材ニーズに応えるべく、「世界で活躍できるグローバルエンジニア」の育成は、全国の高専で柔軟に進められています。

これまで本校を含む一部の高専で取り組まれてきたグローバルエンジニア育成事業は、今年度から全国51高専で展開されることとなりました。昨年には、より多くの学生の海外活動を支援する「高専生海外活動支援」も開始され、本校でも100名を超える学生がこの制度の支援を受け、学校

全体では300名を超える学生が海外活動を経験しました。今年度はさらに支援枠や金額も拡充されており、これまで以上に海外に挑戦しやすい環境が整いつつあります。

さらに一昨年より始まった「高専グローバルキャンプ事業」では、日本人学生と留学生が協働し、共に学び合うことで、国際的な視野や異文化理解を深める活動が全国で展開されています。今年度は、熊本高専も実施校としてこの事業を担当し、現在その準備を進めています。本校では、参加学生としての機会に加え、運営スタッフとして活動を支える「運営学生」としての参加も促進し、より実践的な学びと成長の場を提供していきたいと考えています。このほか、海外協定校からの訪問グループとの国際交流や短期留学生の受け入れなど、日常的に国際体験ができる機会も多数あります。国内にいながらにして、留学生との交流や国際技術交流など、世界へとつながる貴重な経験が得られる場が整っています。この恵まれたチャンスを逃さず、世界へ飛び出していきましょう！



IDEATHON in 香港

技術教育支援センターより

技術教育支援センター 八代技術支援グループ長 大島 賢治



技術教育支援センターは両キャンパスにあり、各科の実習の支援、卒業研究などで使用する装置の支援、昨年度から稼働しているファブリケーションラボへの技術支援、構内ネットワーク環境に関する支援など広い技術に対応し、研究や学びをサポートしています。熊本キャンパスには半導体、情報通信、制御、プログラミングのICT分野に特化した技術職員、八代キャンパスには機械加工、土木計測、化学・生物分野、ICT分野の技術職員が在籍し、それぞれが高い技術力と経験をもち、日々新しい問題にも対応するよう努めています。機械加工、制御、計測、分析といった様々な分野で、当センターで学生さんが技術的な作業をしたり、職員の高い技術力を目の当たりにすることは、発想からものが生まれる喜びと、その

尊さを体感する機会となるでしょう。センターで取り扱う設備には危険を伴う装置もありますが、安全に対する高い意識を持ってテクノロジーを活用できるよう、将来の技術者・指導者としての成長を支援します。職員は親切に相談に乗ってくれますので、研究や学習の中で相談したいことがありましたら、センターの職員や関連する教員に声をかけてください。



KNIT-SPS2024（学生活動発表会）の実施

生物化学システム工学分野 木原 久美子



2025年2月27日（木）に熊本高専八代キャンパスにおいて学生活動発表会を開催しました。熊本高専（National Institute of Technology, Kumamoto CollegeのKNIT）と、世界で行われている学生活動発表イベント（Student Project Showcase）の英語名称からKNIT-SPS 2024と題したものです。

熊本高専八代キャンパスの1～4年の全学生と5年生以上の有志および学外学生（熊本キャンパスや他高専）・行政・専門家・地域・企業・マスコミなどの参加者約550人・発表90演題による大規模イベントの様子は、新聞やテレビ等を通じて報道されました。選出演題には各種のアワード（賞）が与えられます。

熊本高専八代キャンパスでは、1～4年生が4年間受講するリベラルアーツ必修科目において、地域課題や環境問題(SDGsや脱炭素)等に関する多様なテーマの課題探索を行います。学生は、課題の答えはひと通りではないことや複数の問題が複雑に絡み合っていること、活動の実行には人のコミュニケーションが必要であることなどを理解しながら、主体性を持って実行していく力を培い、発表会で活動を報告しました。新入生も年度末にはイベントに参加することになります。様々な発表や先輩方の姿を見て、今の自分の活動が未来の自分へ繋がることを想像し、毎日を大切に過ごしてもらえたら良いと願います。



新しい生活の始まりに

熊本キャンパス 学生生活支援室長 高木 朝子

新しい環境、新しい友人関係・人間関係がスタートしている人も多いかと思います。自分はコミュニケーションが苦手だと考えている人には悩みが多い時期かもしれません。皆さんは友だちにあまり気が進まないことを誘われたとき、素直にその気持ちを伝えることができるでしょうか。こんなことを言ったら嫌われてしまうのではないかと黙ってしまっていないですか。

自分の気持ちをうまく相手に伝える手段として「アサーション」というものがあります。アサーションとは、相手を尊重しつつ自分の意見を主張するコミュニケーション方法の1つです。

コミュニケーションのスタイルは、非主張タイプ、攻撃タイプ、バランスタイプに分けることができ、非主張タイプが上に挙げたような言いたいことが言えないタイプです。攻撃タイプは、他人に配慮せず自分の意見を強く主張する自己表現スタイルで、自分の意見を正しいと認めさせて相手より優位に立とうとする傾向があります。一方、バランスタイプとは相手へ配慮しつつも、自分の意見を大切に自己表現スタイルで、これをアサーションと言います。

アサーションはトレーニングで身につけられるそうです。誰も傷つけない、批判されない、でも意思をきちんと伝える能力はこれからの社会でますます必要とされていくように思います。興味を持たれたら、アサーション関係の本を手にとってみてはいかがでしょうか。



参照: <https://note.com/lapinhsp/n/nf0560ec34fb7>

保健室から

八代キャンパス 看護師 山下 智子

ルールを守って使おうコンタクトレンズ

最近は通販やドラッグストアなどで化粧品のようにカラーコンタクトレンズなどが買えますが、眼科で診察を受けてから処方されたコンタクトレンズ以外は、目のトラブルの元です。コンタクトレンズをしたい人は、レンズの管理も含めて自分で安全に使えるのか、買う前に考えましょう。

使用期限・装着時間を必ず守る！

使い捨てのコンタクトレンズを何日も使ったりすると、せっかく安全なコンタクトレンズを買っても意味がありません。コンタクトレンズをしたまま寝てしまうなどの装着時間違反も目に負担を与えます。家にいる時はメガネに切り替えるなど工夫しましょう。

異変を感じたらコンタクトレンズをすぐ外す！

コンタクトレンズは、目にとっては「異物」です。検査をして使ってよいとされたものを、きちんとケアして使用していても、目が赤く充血したり、かゆみや痛み、ごろごろした感じがすることがあります。そういった異常がある時は眼科に相談し、コンタクトレンズではなく、メガネで視力を矯正しましょう。

なぜカラーコンタクトレンズはトラブルが多い？

黒目の表面にある角膜は、空気中から酸素を取り入れています。そのため、角膜にレンズをかぶせるコンタクトレンズは、レンズ越しでも酸素を通すようにつくられています。ところが、黒目を大きく見せるサークルレンズやカラーコンタクトレンズには酸素を通しにくいものが多く、それが目のトラブルを引き起こす原因となることがよくあります。眼科の処方を受けたコンタクトレンズ以外はなるべく使用しないことが、目を守る一番良い方法です。



「新・閃きイノベーション2025」の発表会を開催しました。

令和7年4月18日、(一社)熊本県工業連合会と本校主催の「新・閃きイノベーション2025」の発表会を開催しました。

「新・閃きイノベーション」とは、「教育」＋「地域」＋「研究」の総合的な実践プログラムの一つです。企業で実際に問題になっている現実の課題の中から、本校の学生が解決できるものを選び、解決法を考え、プロトタイプを作製やシミュレーションを実際に行い、その結果を報告するという「社会実装型」として展開しています。

熊本キャンパス・八代キャンパスにて対面・オンラインのハイブリッド形式で実施し、機械知能システム工学科、情報通信エレクトロニクス工学科、生産システム工学専攻、電子情報システム工学専攻の学生ら8グループが発表を行いました。本発表会へは出題企業7社・2団体を始め、(一社)熊本県工業連合会会員企業、本校学生、教職員など約100名が参加し、学生が提案するアイデアに対して活発な意見交換が行われました。



タイ高専を所管するタイ高等教育・科学研究・イノベーション省 (Ministry of Higher Education, Science, Research and Innovation: MHESI) 視察団が熊本キャンパスを視察されました。

令和7年4月17日、日本の高専運営をタイ高専の運営の参考としたとの趣旨から、タイ高専を所管するタイ高等教育・科学研究・イノベーション省関係者10名が熊本キャンパスを訪問されました。

特に半導体人材育成や産学官の取組みについて関心があり、それらに関する本校の取り組み等についての高松校長による説明を聞かれた後、カリキュラムの内容や講義の方法など熱心に質問されていました。その後は、クリーンルームを中心とした半導体関連施設を視察され、最後には、タイからの留学生5名と面談を行い、終始和やかな懇談会となりました。

視察団からは、日本の高専教育への理解を深める良い機会となり、留学生との面談の場も設定いただき、有意義な時間となったとの感謝の言葉をいただきました。



EXPO2025 大阪・関西万博「高専未来チャレンジ」に出展しました。



令和7年6月18日・19日の2日間、EXPO2025 大阪・関西万博の会場内にあるEXPOメッセ「WASSE」にて、「高専未来チャレンジ」が開催され、熊本高専からは学生6名と教員4名が参加し、「みんなを大切に、使う人のことを考えて～熊本高専のものづくりチャレンジ～」をテーマ

に展示を行いました。展示の中心は、高齢者や障がいのある人々の生活の質（QOL）を向上させるための支援技術（Assistive Technology）開発の紹介です。本校が特別支援学校と連携して開発した安価で使いやすいインターフェイスと、それを用いたKME（熊本高専発・支援機器）を紹介しました。ボッチャは、手が動かなくてもスイッチや視線でボールを転がせるeボッチャを体験していただきました。そのほかにも、中山間地で有機農業に取り組む農家の負担軽減のために熊本県立大学と共同で開発した球体除草ロボットの展示や、「青少年のための科学の祭典」熊本大会で披露したゲーム感覚で行う心臓マッサージ体験も行いました。



熊本高専に関する最新のニュースは、熊本高専の公式Webサイト<https://kumamoto-nct.ac.jp/>をご覧ください。

熊本キャンパス

9月

28日(日) 高専ロボコン九州沖縄地区大会(有明)
29日(月) 後期授業開始

10月

1日(水) 開校記念日
11日(土)~12日(日) 全国高専プロコン(松江)
17日(金)~23日(木) 授業参観、学級懇談会
25日(土)~26日(日) 電波祭

11月

7日(金)~9日(日) 九州沖縄地区高専体育大会(サッカー)
8日(土)~9日(日) 全国高専デザコン(福井)
15日(土)~16日(日)・18日(火) 九州沖縄地区高専体育大会(ラグビーフットボール)
16日(日) 高専ロボコン全国大会(国技館)
25日(火)~12月1日(月) 後期中間試験

12月

9日(火) キャリアセミナー
26日(金)~1月6日(火) 冬季休業

1月

17日(土) 本科推薦選抜検査(入学試験)
21日(水) 特別研究発表会(専攻科)
24日(土)~25日(日) 全国高専英語プレコン(オリセン)
28日(水)~2月3日(火) 後期定期試験

2月

8日(日) 本科学力選抜検査(入学試験)
26日(木) 卒業研究発表会

3月

2日(月)~3日(火) 冬季クラスマッチ
9日(月)~31日(火) 学年末休業
23日(月) 卒業式・修了式

八代キャンパス

9月

28日(日) 高専ロボコン九州沖縄地区大会(有明)
29日(月) 後期授業開始

10月

1日(水) 開校記念日
11日(土)~12日(日) 全国高専プロコン(松江)

24日(金)~26日(日) 高専祭

11月

7日(金)~9日(日) 九州沖縄地区高専体育大会(サッカー)
8日(土)~9日(日) 全国高専デザコン(福井)
15日(土)~16日(日)・18日(火) 九州沖縄地区高専体育大会(ラグビーフットボール)
16日(日) 高専ロボコン全国大会(国技館)
25日(火)~12月1日(月) 後期中間試験

12月

6日(土) 仕事研究セミナー
26日(金)~1月6日(火) 冬季休業

1月

17日(土) 本科推薦選抜検査(入学試験)
21日(水) 特別研究発表会(専攻科)
24日(土)~25日(日) 全国高専英語プレコン(オリセン)
28日(水)~2月3日(火) 後期定期試験

2月

8日(日) 本科学力選抜検査(入学試験)
19日(木) 卒業研究発表会
27日(金)~3月31日(火) 学年末休業

3月

23日(日) 卒業式・修了式

※行事予定については、変更になる可能性もありますので、最新の予定一覧（本校公式 Web に掲載）をご確認下さい。

熊本高専だより 2025. SUMMER No.39

【発行】広報戦略室 令和7年8月

編集後記

今号では、新入生の皆さんの希望に満ちた声をはじめ、本校での日々の歩みを感じられる話題をお届けしました。目まぐるしく変化する社会の中でも、自らの興味や目標に向かって着実に、そして何よりも自分らしく進む学生一人ひとりの姿は、非常に頼もしく感じられます。

本号が、学生たちの成長と努力を感じていただく一助となれば幸いです。



熊本高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>

